

2024年度 科目別 授業計画(シラバス)

科目名	運営管理	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	2 Semester (後期)
学科・専攻	美容師科・全専攻	授業 形態	講義	単位 時間	1 30	曜日 時限	水 1・2
教員	諸岡 功明	【教員実務 経験】	大学院博士課程において、教育学を専攻したのち、本校のみならず様々な高等教育機関で実践を行いました。本校においては10年以上国家試験対策に従事しています。				
【到達目標】	美容業における運営管理の重要性を理解し、公衆衛生の向上に寄与しようとする美容師になるために、国家試験合格に必要な知識を身につける。						
【授業の学習内容】							
国家試験の合格に必要な運営管理分野の正答率を8割以上にできます。							
週	授業形態	授業計画・内容					小テスト・中間テスト・定期試験
1	登校	授業についての基本的な心構え、ルールを理解できる。 当該教科における国家試験の頻出項目の概要を理解する。					
2	登校	運営管理の目的について理解する。運営管理の主要5分野の構造を理解する。 少子高齢化と美容業の現状について理解できる。					
3	登校	以下のポイントにつき、問題に正答できる。①資金管理②税金					小テスト5点
4	登校	社会保険制度について、医療保険、介護保険、後期高齢者、雇用保険、労災保険の違いを理解する。					
5	登校	以下のポイントにつき、問題に正答できる。①保険の被保険者②給付③自己負担の割合					小テスト5点
6	登校	年金について、国民年金と厚生年金の差異を理解する。					
7	登校	以下のポイントにつき、問題に正答できる。①年金の被保険者②給付③自己負担の割合					小テスト5点
8	登校	労務管理における労働者の権利及びその根拠法について理解する。					
9	登校	以下のポイントにつき、問題に正答できる。 ①労働基準法と労働者の権利②労働安全衛生法と健康診断					小テスト5点
10	登校	中間試験					中間試験20点
11	登校	中間テストで間違えたところを確認し、正しい知識を身につける。					
12	登校	消費者保護の意義と仕組みにつき、理解する。					
13	登校	関係法規分野と関連する、以下のポイントにつき理解する。①政金法②法の目的					
14	登校	定期試験					期末試験50点
15	登校	定期試験フィードバック・成績評価					小テスト10点
準備学習 時間外学習	準備 : まとめのプリントを整理するファイルの用意 時間外学習 : 授業のポイントを復習し、記憶する。						
評価方法	●習熟度 : 定期50点 口頭試問、筆記式小テスト30点 中間テスト20点 ◇出席 : 出席率80%以上(下回る場合は単位認定は無し、E評価となる) ◇合否 : 60点以上で合格(A: 100~90 B: 89~80 C: 79~70 D: 69~60) 否(E: 評価資格喪失 F: 59~0) 実習や習熟度が測れないものはS・U評価						
受講生への メッセージ	近年国家試験の教科になり、過去問などがほとんどありません。その分出题されるポイントは非常に狭く、そこを抑えれば短期間で高得点が狙えます。効率よく学ぶ必要があるため、自己学習よりも、授業でポイントを押さえましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
日本理容美容教育センター『運営管理』 適時講師が教科書のポイントをまとめたものを用意します							